



2026年4月16日付 「2026年3月期 連結業績予想修正」 説明会

データセクション株式会社

2026年4月21日

証券コード：3905

- 売上高：下方修正**
 - 国内及びオーストラリア（以下、「豪」）第1号データセンター案件につき、いずれもFit-Out工事は概ね完了しているものの、資材・設備の納入の遅れにより、稼働開始予定時期変更
 - 旺盛な利用ニーズを受けて、同顧客への追加サービス提供量が想定を大幅に上回る
- 営業利益、経常利益：上方修正**
 - 上記売上高の増減により売上総利益が668百万円減少
 - 第22回新株予約券（有償ストックオプション）の全部取得（無償取得）及び消却により、2026年3月期の販管費計上予定の株式報酬費用818百万円が非計上
 - 借入残高の想定額減少による支払利息の減少
- 調整後EBITDA:下方修正**
 - 国内及び豪の第1号案件の減価償却見込み2,304百万円、株式報酬費用818百万円の非計上
- 親会社株主に帰属する当期純利益：上方修正**
 - 経常利益の上方修正に加え、税務上加算調整の株式報酬費用の非計上により、課税所得の見込額が減少

(百万円)	修正 今期業績予想	2026年1月6日付今期業績予想			前期（2025年3月期）実績		
		金額	差分 (金額)	差分 (増減率)	金額	差分 (金額)	差分 (増減率)
売上高	33,601	37,273	▲3,672	▲9.9%	2,942	+30,658	+1,041.9%
営業利益	3,635	3,498	+137	+3.9%	▲496	+4,131	-
調整後EBITDA*	4,252	7,239	▲2,986	▲41.3%	▲169	+4,421	-
経常利益	3,457	2,972	+485	+16.3%	▲613	+4,070	-
親会社純利益	2,804	1,908	+896	+47.0%	▲654	+3,458	-
1株当たり純利益(円)	115.57	59.34	-	-	▲37.40	-	-

(*) 調整後EBITDA：営業利益＋減価償却費＋無形固定資産償却費＋株式報酬費用＋M&A関連費用

■ データセンター案件の状況



■ データセンター案件の状況



Datasection Intelligence as Infrastructure

2024年に新体制を発足し、AIインフラ事業を中心戦略に
第2の創業からわずか2年でアジア最大の“Neo Cloud”の地位を確立

グローバルでトップレベルのAI関連チームを組成、
パートナーシップの推進により、プロジェクトを着実に進める



AI顧客獲得



GPUの確保



データセンター（電力確保）



資金調達力

DatasectionによるAIインフラ構築

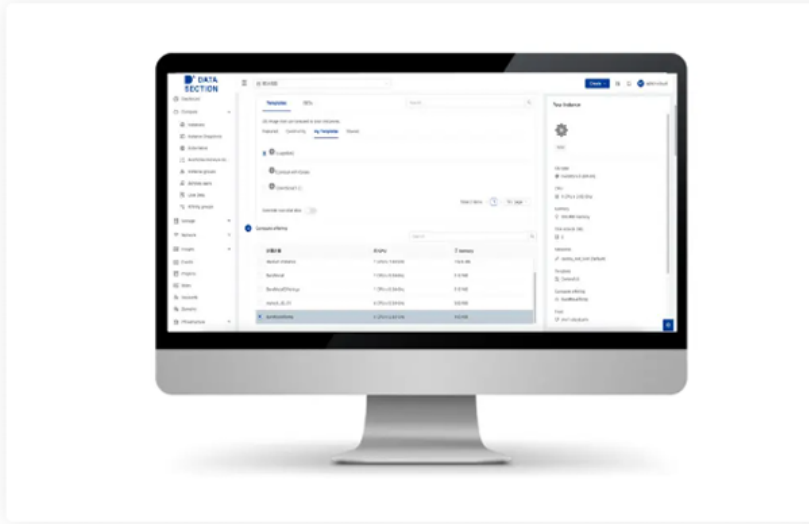
アジアで最大・唯一の“Neo Cloud”

- プロジェクトA : B200 5,000個、日本
 - プロジェクトB : B200/300 10,000個、オーストラリア
(30,000個まで段階的に拡大)
 - プロジェクトC : B200 5,000個、タイ
 - プロジェクトD : GB200/300 70,000個 (1,000ラック規模)
 - プロジェクトE : GB200/300 100,000個 (1,500ラック規模)
 - プロジェクトF : B300 30,000個、場所は調整中
 - プロジェクトG : B200 5,000個、日本
 - プロジェクトH : B200 5,000個、日本
 - プロジェクトI : B300 70,000個、UAE
- その他、欧州、米国等でパートナーと連携し、AIインフラを構

“TAIZA”

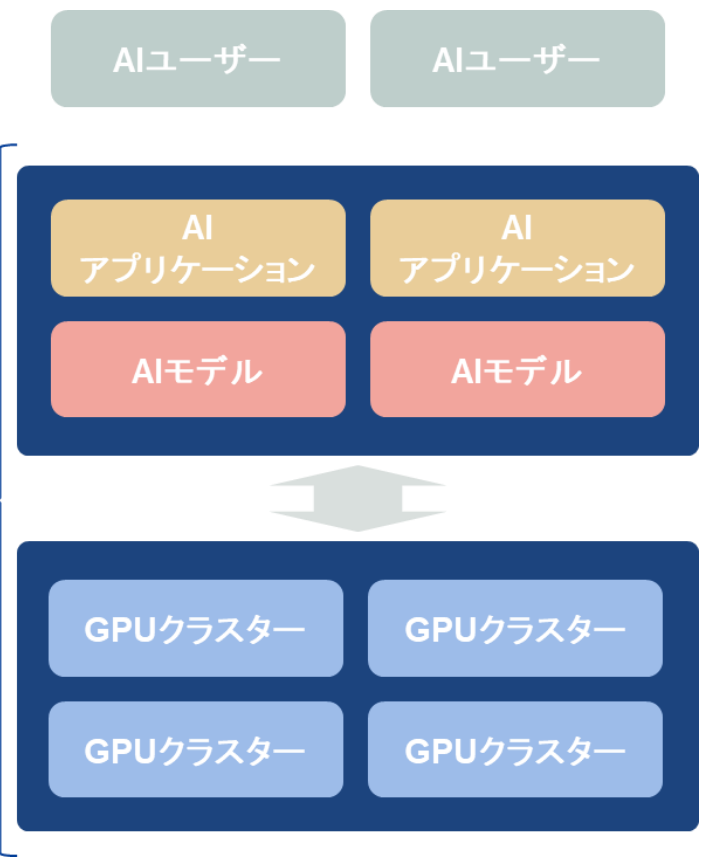
2026年中に100,000-300,000個のGPU運用を目指す

TAIZAが運用するGPU
20,180 GPU
(2026年2月17日現在)



データセクションクラウドスタック「TAIZA」が現在、運用しているGPUの数を表示しています。運用数に応じて、定期的に更新します。

TAIZA



大きな誤算

なぜ、AIによるホワイトカラーへの影響を過小評価してしまったのか？



“Reasoning Parrot”

We thought AI needed to "understand" to replace us. It doesn't. It just needs to replicate patterns. This is why **cognitive work** is proving easier to automate than manual labour.

– Gary Marcus / Sachin Dev Duggal



自動化された科学者

Google DeepMind's new automated lab proves that **research itself** is becoming a standardized process. Science is no longer a human monopoly.



産業革命の規模

This isn't a tool upgrade. It is a societal restructuring. The Bank of England warns of displacement equal to the Industrial Revolution, but happening **much faster**.

– Andrew Bailey, Governor of the Bank of England



2026年の崖

The "Godfather of AI" warns that AI will replace "many, many jobs" starting **in 2026**. The future isn't coming; it's already here.

– Geoffrey Hinton

Source: THE INDEPENDENT, Jan 4, 2026

日本は新幹線が作れるが、なぜLLMが作れない？

ハード面での強み

300,000+

Industrial robots in manufacturing
(World Leader)

#1

Global robot density per employee

¥10 Trillion

Government AI commitment by 2030

ソフト面でのジレンマ

9th

Stanford AI Vibrancy Index
(Behind UK, Singapore, S.Korea)

\$0.93B vs \$109B

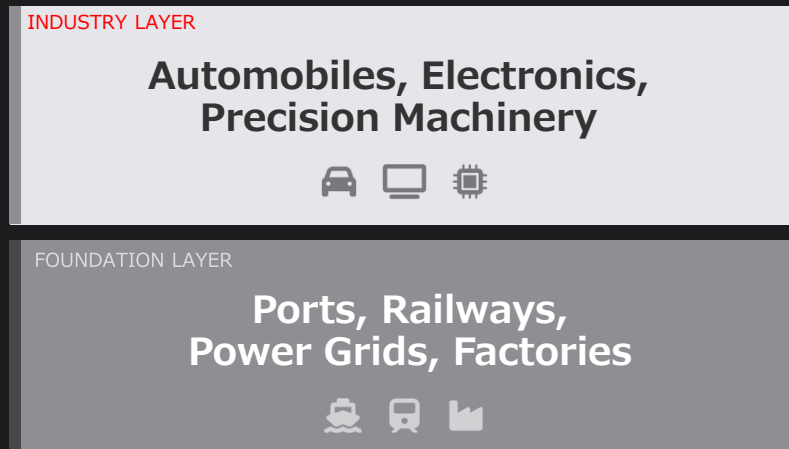
Private AI Investment (Japan vs US)

\$38k vs \$133k

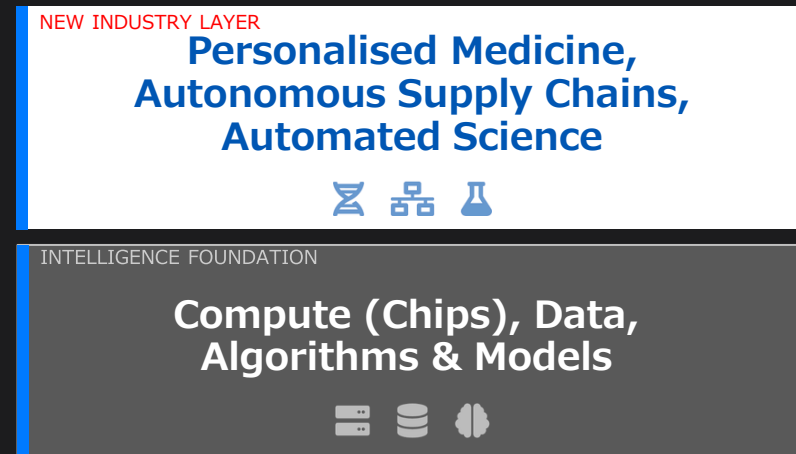
Top AI Engineer Salary Gap

“How Do We Use AI?”ではなく、“How Do We Rebuild on AI?”

Physical Infrastructure



Intelligence Infrastructure

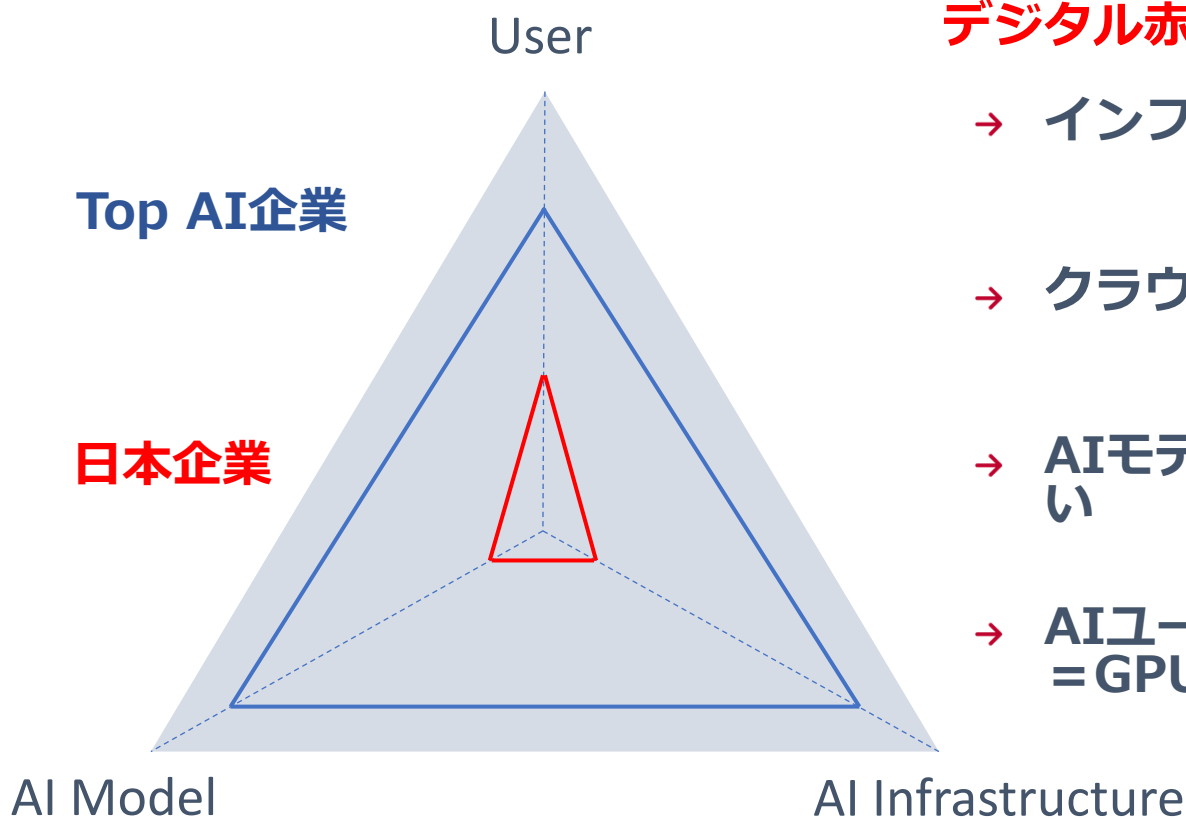


日本の産業界は引き続き世界トップレベルだが、Intelligence Infrastructureが足りない

AIインフラを制すものが次の時代を制す

日本の現状と課題

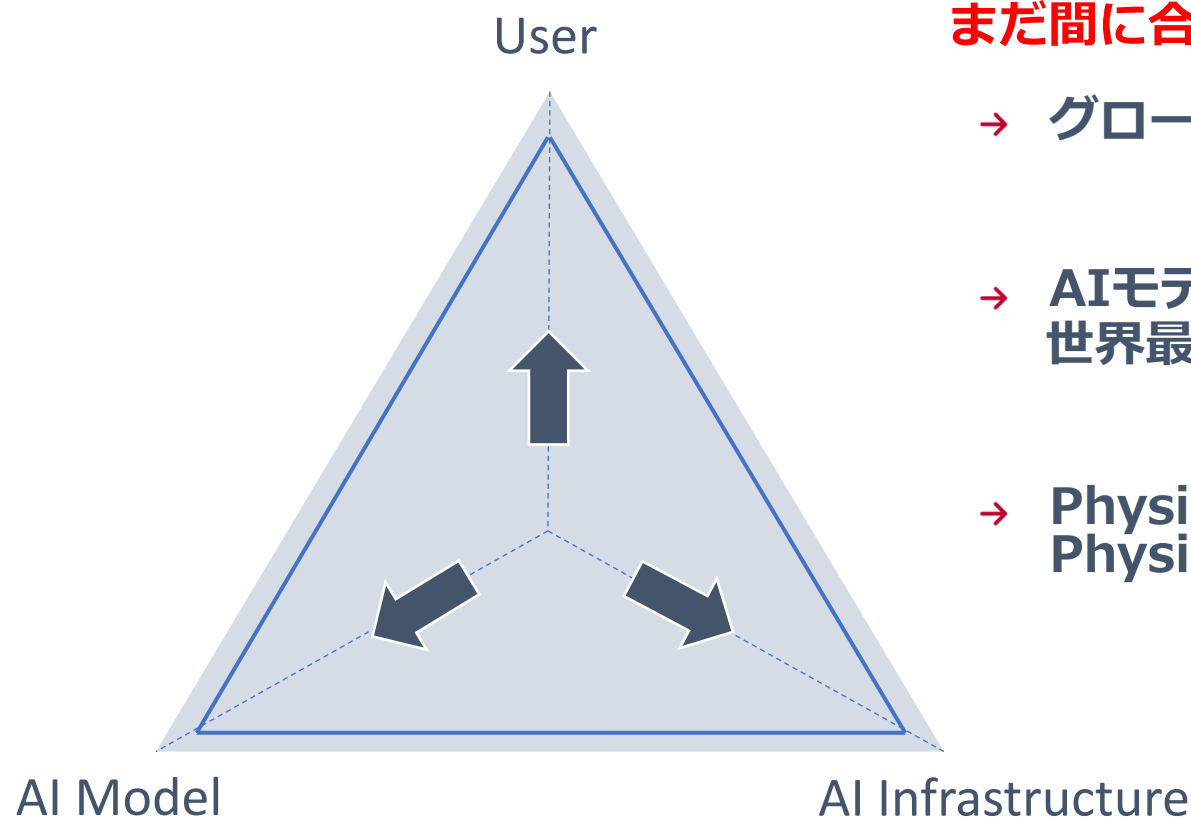
現状：バランスの悪い3要因



デジタル赤字がもたらした悪循環

- インフラ欠如・クラウドエンジニア欠如
- クラウドなくしてAIモデルは生まれない
- AIモデルなくしてAIユーザーは生まれない
- AIユーザーなくして設備投資は成立しない
= GPUが買えない

課題解決：バランスの取れたAI戦略 AI上でビジネス戦略を“再定義”



まだ間に合う

- グローバルレベルのクラスター構築
- AIモデルは“Replaceable”
世界最先端AIモデルを活用
- Physicalでの強さをAI上で“再定義”
Physical AIでは世界でまだ勝てる

日本が勝つ3つの要因： Intelligence as Infrastructure

Physical AI国家へ

“Made in Japan”から“Operated by Japan AI”へ

エッジ： スピード

信頼されるSovereign Compute

日本が世界から信頼されるAIインフラのハブに

エッジ： 信用 + 安定性

Human-AIデザイン

課題定義とAIシステムデザインへのシフト - AIと何を作るのか？ -

エッジ： 適合スピード